

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-60	中学校	数学	数学	1年
発行者の 番号・略号	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 708	中学数学 1		

## 1. 編修の基本方針

### — 子どもたちに「真の生きる力」をはぐくむ数学の学び —

数学的な見方・考え方を働かせた

「わかる・できる・活かす・楽しむ」数学的活動の充実により

確かな資質・能力が育つように…

私たちはこの教科書が、そのたすけとなることを心から願って編修しました。

本教科書は、教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するため、次のような基本方針で編修しました。

基本方針

1

数学的に考え  
表現するための学び方  
をはっきり示します

～主体的・対話的で深い学びの実現～

基本方針

2

生活や学習の  
基盤となる数学の礎を  
きっちり築き上げます

～基礎的・基本的な力の確実な定着～

基本方針

3

数学の楽しさやよさを  
しっかり感じられる  
ようにします

～生活や学習への活用場面の充実～



## 1 数学的活動を通じた学びをサポートします

- ・巻頭「数学の学習を始めよう！」(p.4～5)では、数学的活動を通じた問題発見・解決の過程と学び方のポイントを示しています。
- ・数学的活動を通じた学びをサポートする役割を果たし、主体的・対話的で深い学びを実現させます。

日々の学習で役に立つ学び方のポイントを示しています。

<p><b>身近なことがらを数学の問題にする</b></p> <p><b>身近なことがら</b> 日常生活や社会の中のことからです。</p> <p><b>数学の問題にしよう</b> ことからの数量などに着目して、数学の問題にする過程です。</p> <p><b>Q</b> 学習の出発点となる問題です。</p>	<p><b>見直しをもとう</b> 見直しをもつためのポイント ・これまでに学習したことで、使えそうなことはないかな。 ・これまでに学習したことを使うには、どんなふうをすればよいか。</p> <p><b>考えよう</b> 自分で考えるときのポイント ・図や表、式などを使って考えよう。 ・自分の考えを説明できるように、考えをノートに整理しよう。</p> <p><b>話し合おう</b> 話し合うときのポイント ・これまでに学んだこととよく似た方法や考えはないかな。 ・みんなの方法や考え方に共通することやちがうことはないかな。 ・いつでも使えそうな方法や考え方はどれかな。</p>	<p><b>ふり返ろう</b> 学習をふり返る時のポイント ・どんなことがわかったかな。 ・問題を解決するとき、どんな方法や考え方が役に立ったかな。 ・学んだことがらには、どんなよきがあったかな。 ・次にしたいこと、さらに調べたいことは何か。</p> <p><b>深めよう</b> 学習を深めるためのポイント ・問題の条件の一部を変えた新たな問題を見つけて解決しよう。 ・学んだことと新たに学んだことを関連づけて考えよう。 ・学んだことをほかの場面で活用しよう。</p>
--	--	---

## 2 数学的な見方・考え方を働かせられるようにします

- ・巻頭「数学的な見方・考え方を身につけよう！」(p.6～7)では、数学的な見方・考え方を働かせながら学ぶことの大切さを理解できるようにしています。
- ・各小節の横欄〈大切な見方・考え方〉では、その場面で必要な「数学的な見方・考え方」を具体的に示すことで、数学的な見方・考え方を働かせながら数学的活動に取り組めるようにしています。

巻頭「数学の学習を始めよう！」(p.4～5)より抜粋

### 大切な見方・考え方

いくつかの場合から予想する  
具体的な数で考える

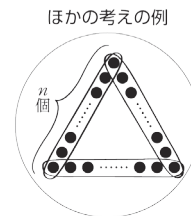
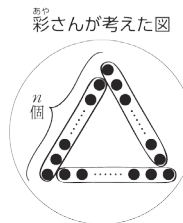
### 大切な見方・考え方

図形の関係に着目する  
おうぎ形の弧と長さが等しい部分に着目する

「学び合おう」は、主体的・対話的で深い学びを実践する授業展開の小節です。巻末には切り離して使える「対話シート」があります。

### 3 話し合おう

- (1) 各自で考えた求め方をもとに、どんな求め方があるか、話し合ひましょう。



いろいろな求め方を見つけて、それぞれの求め方の特徴について話し合おう。



彩さんの囲み方には重なりがないね。



どちらの図にも、囲みが3つあるね。

1つの囲みの中に、何個の基石はありますか。

ほかの求め方はないかな。

### 大切な見方・考え方

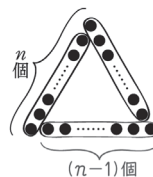
根拠を明らかにする  
図と式を関連づけて説明する

## 3 自分の考えをもち、対話することを通して深い学びを実現します

- ・「学び合おう」では、問題解決型の授業展開をはっきりと示しています。自分で考えたことをもとに話し合い、学習をふり返ることで学びを深められるようにしています。
- ・各小節では、〈話し合おう〉や〈説明できるかな?〉を適宜設けています。言語活動の充実を図ることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を養うことができるようにしています。

- (2) 基石の総数を表す式の求め方を、下の彩さんのように説明しましょう。

### 【彩さんの対話シート】



1辺の基石の数を  $n$  個とすると  
基石の総数は  $3(n-1)$  個  
三角形の辺の数  $\downarrow$  1辺の基石の数から  
1ひいた数



**表現の例**  
正三角形の辺ごとに1つの頂点以外を囲んでいるので、1つのまわりは  $(n-1)$  個です。同じまわりが3つあるので、基石の総数は、 $3(n-1)$  個になります。

1 既習内容を確認することで、学びの連携を図ります

- ・1年では「小中連携」を特に重視し、巻頭には「算数の確かめ」、巻末には「算数の確かめ【問題編】」を設けています。算数で学んだことがらのうち、特定の章に限らずよく使われる内容をいつでも確かめることができます。
- ・新しい章にはいる直前には、既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」を設けています。新しい章の学習をスムーズに行うことができます。
- ・各小節では、導入の問題に<sup>確かめよう</sup>〈Q〉、横欄に〈確かめ〉を適宜設けています。既習である基礎的・基本的な内容を、必要な場面で確かめることができます。

2 学習の系統性を意識づけることで、学んだことを次の学習に生かすことができます

- ・横欄〈大切な見方・考え方〉に「知っていることを使えるようにする」ことや「同じように考える」ことを適宜明示しています。これまでに身につけた知識及び技能を新しい問題の解決に生かしていくことで、基礎的・基本的な学力が確かなものになっていきます。
- ・小節末に〈次の課題〉を適宜設けています。その時間に学んだことから新たな課題に気づかせ、次の学習への意識を高めます。

3 生徒が苦手とする問題を克服できるようにしています

- ・〈誤答に注意!〉とかかれたプレートをもったキャラクターの吹き出しを使って、生徒がまちがえやすい箇所について注意喚起しています。
- ・生徒キャラクターの吹き出しやノート枠を使って、数学的な表現の例を示しています。数学的に適切な表現をしたり説明をしたりする力を身につけるたすけとなります。
- ・〈まちがえやすい問題〉では、まちがえたり誤解したりしやすい問題の典型的な誤答例を示すことで、意識づけをし、まちがいを防ぎます。

速さ・時間・道のり 算数の確かめ【問題編】 p.278

●速さ●  
速さは、単位時間あたりに進む道のりで表します。  
時速40km……1時間で40km進む速さ  
分速60m……1分間で60m進む速さ  
秒速8m………1秒間で8m進む速さ

時速40kmを40km/h、  
分速60mを60m/min、  
秒速8mを8m/sと  
表すこともあるよ。

一定の速さで歩いている人が、○地点を通過しました。

○地点を通過してから 1分後 2分後 3分後 4分後 5分後…

120mの道のりを2分で進む速さは分速60mです。  
(速さを求める式)  $120 \div 2 = 60$   
速さ=(道のり)÷(時間)

分速60mで進む人が4分で進む道のりは240mです。  
(道のりを求める式)  $60 \times 4 = 240$   
道のり=(速さ)×(時間)

480mの道のりを分速60mで歩んだときにかかる時間は8分です。  
(時間を求める式)  $480 \div 60 = 8$   
時間=(道のり)÷(速さ)

時間(分)	1	2	3	4	5	…
道のり(m)	60	120	180	240	300	…

数値の関係を表やグラフで表すことも学んだね。

算数を学び直し新しい課題に取り組みます。 巻頭「算数の確かめ」(p.10)

3 数の範囲の広がりや比例の性質

Q 東へ向かって分速60mで歩いている人は、○地点を通過した4分後、○地点からどちらの方向へ何mの所にいますか。また、○地点を通過する4分前はどこにいますか。

4分前 3分前 2分前 1分前 1分後 2分後 3分後 4分後

西 ○ 60m 東

Qの話で、歩いている人が○地点を通過してからx分後に、○地点から東へy mの所にいます。このとき、yをxの式で表すと、次のようになります。  
 $y = 60x$   
y=axの式で表されるので、yはxに比例するといえます。

○地点を通過する4分前はx=-4、○地点から西へ240mはy=-240と表せるね。

のちで 数の範囲を負の数にまで広げて、比例の性質を調べよう。

4章 比例と反比例 (p.132)

苦手を克服するためのさまざまなくふうです。

〈誤答に注意!〉

$(-3)^2$ と $-3^2$ はちがうんだね。

表現の例

$3 \times \frac{1}{3} = 1$ だから、3の逆数は $\frac{1}{3}$ です。

まお 真央さん

〈誤答に注意!〉(p.49) 表現の例 (p.46)

まちがえやすい問題

右の答えは、 $2 + (-4 + 7) - (+6)$ を計算したのですが、まちがっています。まちがっているところを見つけてください。また、正しい計算を教えてください。

✗まちがいの例

$2 + (-4 + 7) - (+6)$   
 $= 2 + (-3) + (-6)$   
 $= 2 - 3 - 6$   
 $= 2 - 9$   
 $= -7$

〈まちがえやすい問題〉(p.38)



1 学習したことを活用する場面を充実させ、数学のよさを実感できるようにします

- ・〈身近なことから〉から数学の問題をつくる過程を課題に取り入れたり、解決した問題の条件の一部を変えるなどして新しい問題をつくって取り組んだりする場面を適宜設けました。自ら課題を見だし、発展させるなどして、数学を活用していく資質・能力を養うことができます。

学びに向かう生徒を育てる  
わくわくする課題を提供します。

**3 ポスターの文字の大きさを決めよう** 学び合おう

身近なことから 対話シート③ p.305

家庭科クラブでは、文化祭に向けて、右の図のような内容のポスターをつくろうとしています。  
真央さんは、「家庭科」の文字を大きめにかいて、離れた場所からでも読めるようにしたいと考えました。  
そこで、「家庭科」の文字をどのくらいの大きさにかけばよいかを話し合っています。

**家庭科 クラブ**  
焼きたてクッキーの試食会  
時刻：14時～（先着20名）  
場所：家庭科室（2階）

数学の問題にしよう

遠くからでは読めない 近づけば読める

家庭科 14時～16時  
焼きたてクッキーの試食会  
先着20名  
家庭科室（2階）

家庭科 クラブ  
焼きたてクッキーの試食会  
時刻：14時～（先着20名）  
場所：家庭科室（2階）

**大切な見方・考え方**  
数学の問題にする  
条件を明確にする

4章 比例と反比例「学び合おう」(p.157)

**6 作図の方法を説明しよう** 学び合おう

対話シート④ p.307

これまでに、垂線や角の二等分線などの作図について学習してきたけど、ほかにどんな図が作図できるかな。

**Q** 45°の角を作図して、その方法を説明しましょう。

**1** 見通しをもとう  
45°がどんな角か考え、これまでに学習したことを結びつけよう。

**大切な見方・考え方**  
知っていることを  
使えるようにする  
作図できる角の大きさと45°を結びつける

陸さん: 45°は90°の半分だから…  
真央さん: 2つの直線が直角に交わるのが垂線だから…

5章 平面図形「学び合おう」(p.188)

2 数学を身近に感じられるようにします

- ・巻頭の「数学を見つけよう」では、数学を身近に感じ、数学への興味・関心を高められるようにしています。
- ・「章の扉」では、身近なことからや数学のことがらから数学の課題を見だし、いく過程を大切に扱っています。
- ・各章に設けた「数学のたんけん」や巻末の「数学を仕事に生かす」「暮らしと数学」では、生活や社会の中で数学が重要な役割を担っている事例を紹介しています。

自身の将来を考えたり、日々の生活と数学との関わりを考えたりするきっかけとなります。

**数学を仕事に生かす**

**データから導き出す  
問題解決の糸口**

はやみ 美優さん(データアナリスト)  
プロフィール  
アナリストとは「分析する人」という意味。大学では理工学部数学科でデータ分析について学んだ。企業に勤め、データ分析業務に携わる。

巻末「数学を仕事に生かす」(p.258)

**4章 比例と反比例**

どんな関係があるのかな?

江戸時代に日本地図づくりに取り組んだ伊能忠敬は、最初の測量の旅で、歩数から歩いた道のりを求めました。より正確な地図をつくるために道具を使った測量も行っていますが、歩数から求めた道のりも、かなり正確だったといえます。

伊能忠敬がつくった地図  
忠敬が亡くなった3年のうちに、弟子たちが完成させたものです。

▲宇宙から見た関東地方

どうして、歩数から歩いた道のりがわかるのかな。  
自分の歩幅が一定だととして、(歩幅)×(歩数)を計算したのではないかな。

陸さん  
真央さん

4章 比例と反比例「章の扉」(p.124)

## 2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	・〈「中学数学」へようこそ〉では、数学を学ぶことで身につく考える力や伝え合う力、他者と協力して課題を解決していく力が「生きる力」となっていくことを伝え、学習意欲を高められるようにしました。(第2号)	巻頭見返し
各章	・男女平等に配慮し、男女区別のない役割を意識した場面を提示し、公平な立場で他者と接することができるようにしました。(第3号) ・「学び合おう」では、問題解決の過程において、自分の考えを表現したり、他者と協働して取り組んだり、数学的な妥当性を考察したりする場面を例示することにより、真理を求める態度、自他の敬愛と協力を重んじる態度を養えるようにしました。(第1号、第2号、第3号)	p.88, 157, 204, 225, 236 など p.58～59, 87～89, 157～159, 188～189
1章 正の数と負の数	・環境・防災教育につながる素材を通して、生命を尊ぶ精神や、環境保全・防災に寄与する態度を養えるようにしました。(第4号)	p.14～15, 23, 58～59, 61
2章 文字と式	・生徒の多様な考え方を生かしながら学習を進められるようにしました。(第2号)	p.87～89
3章 方程式	・方程式や比例式を生活の中で利用する場面を問題として取り上げました。(第2号)	p.112～119
4章 比例と反比例	・日常生活や他教科(社会科, 理科, 英語科)と関連深い素材を取り上げ、幅広い知識が身につくようにしました。(第1号)	p.124, 134, 154～159
5章 平面図形	・我が国の伝統的な模様の一つである麻の葉模様を素材として取り上げ、我が国の伝統・文化への理解を深められるようにしました。(第5号)	p.164～165, 173
6章 空間図形	・操作活動の場面を設けたり、具体物の写真を提示したりすることで、空間図形の基礎的・基本的な知識を習得できるようにしました。(第1号)	p.198～199, 202, 204, 209 など
7章 データの活用	・考えたことを伝え合ったり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする学習活動を取り入れました。(第1号, 第3号)	p.224～225, 236, 244～246
巻末 数学 マイトライ	・個々の学習状況に幅広く柔軟に対応できるような素材を集め、生徒の主体性を重視し、自主及び自律の精神を養えるようにしました。(第2号)	p.257～288

## 3. 上記以外に特に意を用いた点や特色

### ●特別支援教育への配慮

すべての生徒が等しく学べるように、カラーバリアフリー、ユニバーサルデザイン(UD)を採用しました。

- ① UDフォントの使用、罫線や囲みの使い方、色使い、レイアウトなどをくふうし、判読しやすくしました。
- ② 読みやすい位置で改行をしたり、図中の文字を大きくしたりして、読みやすい紙面構成にしました。
- ③ 小学校で学習しない漢字、学習しない読み方をする漢字には、見開きごとに振り仮名をつけました。

### ●道徳教育との関連

問題解決の場面では、自らの考えを発表し、他者の多様な考え方を尊重し、話し合いを通してよりよい考えをつくり上げていく展開を重視して、道徳性を養うことに配慮しました。

### ●ICTの活用

〈WEBマーク〉をつけた箇所に関連したコンテンツを弊社ウェブページに用意しました。また、ICT機器を活用した学習場面をイラストや写真で提示しました。さらに、「プログラムと数学」(p.270～271)を設けました。

### ●伝統・文化への取り組み

我が国の国土や文化に対する理解を深められるような素材を多く取り上げました。「伝統工芸品」巻頭見返し、「伊能忠敬が作成した地図」p.124、「麻の葉模様」p.164、「関孝和」p.194 など

### ●防災教育との関連

防災への意識を高める素材を取り上げました。「水防観測表示板」p.23、「地震のP波とS波」p.263

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-60	中学校	数学	数学	1年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 708	中学数学 1		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

特 色

### 1 主体的・対話的で深い学びの実現

#### ① 数学的活動を通じた学びをサポートします

- ・巻頭「数学の学習を始めよう！」(p.4～5)や「ノートにくふう」(p.12)と各章における学習をつなげることで、数学的活動を通じた学びをサポートし、主体的・対話的で深い学びを実現します。

##### 見直しをもつ

学習の出発点となる〈Q〉(数学的活動ア, イ)で本時の課題をつかみ、〈めあて〉で学習のゴールとそこまでの道筋を確認することで、学習の見直しをもてるようにしています。

##### 自分で考える

##### 話し合う

##### 深める

〈考えよう〉マークがついた〈問〉では、問題の解き方などを自分なりに考えることで、数学的な思考力を養うようにしています。(数学的活動ア, イ)

〈話し合おう〉マークがついた〈問〉では、数学的に表現することのよさを実感し、数学的な表現力をのばしていくようにしています。(数学的活動ウ)

〈深めよう〉マークがついた〈問〉では、基礎的・基本的な知識の理解をより確実にしたり、思考力、判断力、表現力等をいっそうのぼしたりすることができます。(数学的活動ア, イ)

##### ふり返る

「数学の学習を始めよう！」にふり返りのポイントを、「ノートにくふう」にふり返りの記述例を示すことで、次の学習に生かすためのふり返りができるようにしています。



めあて

考えよう

問1

話し合おう

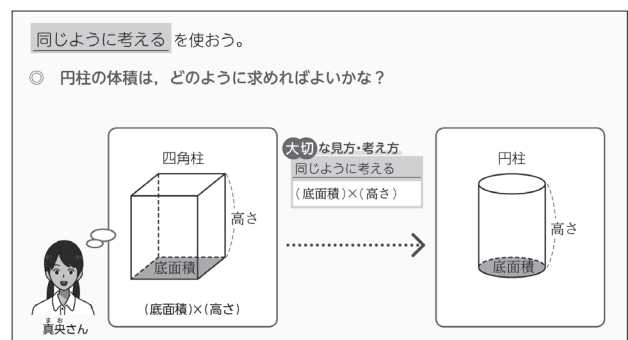
問2

深めよう

問4

#### ② 数学的な見方・考え方を働かせられるようにします

- ・巻頭「数学的な見方・考え方を身につけよう！」(p.6～7)と各章における学習をつなげることで、数学的な見方・考え方を働かせながら学習を進め、数学的な資質・能力を養えるようにしています。
- ・各小節では、その場面で働かせるべき「数学的な見方・考え方」を具体的に示すとともに、汎用的な表現でくり返し示すことで、「数学的な見方・考え方」がさらに確かで豊かなものとなり、自分の判断で適切に働かせることができるようにしています。



巻頭「数学的な見方・考え方を身につけよう！」(p.6)

大切 な見方・考え方

関連づけてまとめる

$$4-10=(+4)+(-10)$$

減法          加法

← 汎用的な表現 →

← 具体的な表現 →

大切 な見方・考え方

関連づけてまとめる

加法と減法 → 加法

乗法と除法 → 乗法

### ③ 自分の考えをもち、対話することを通して深い学びを実現します

- ・「学び合おう」では、典型的な問題解決型の授業展開をはっきりと示しています。話し合いやふり返りの観点を明確に示すことで、深い学びを実現します。
- ・巻末には「対話シート」を用意しています。自分の考えをかき、たがいの考えを伝え合うために使用することで、問題解決のための考え方を高め、表現のしかたを練り上げ、理解を深めていきます。

〈ふり返し〉

①・「高い」と「低い」のよりに反対の性質をもつ数量は、基準を決めて、+と-で表すことができることがわかった。

⑤・身のまわりで「-」のついた数をさがしたい。

ほかの人の考えでよかったことや、みんなで話し合っただけよかったことなどをかこう。

学習をふり返ろう

各自で学習をふり返って、次のようなことをかこう。

① わかったこと  
② 役に立った考え方  
③ よさを感じたこと  
④ 生活との関わり  
⑤ 次にしたいこと、さらに調べたいことなど

p.301～308にある〈対話シート〉も使ってノートをつくりましょう。

自分の考え

3(n-1)個  
辺の数 (1辺の数)-1

(山本さん)の考え

重なりが3つある  
3nだと3個多くなるから  
3をひく。

ふり返ろう

②・1辺が5個の場合や6個の場合を考えると、キマリが見つけられた。

③・図と式を両方使って説明するとうまく伝えられた。

「ノートのくふう」(p.12)

特色

2

## 基礎的・基本的な力の確実な定着

### ① 既習内容を確認して、学びの連携を図ります

- ・巻頭には「算数の確かめ」、巻末には「算数の確かめ【問題編】」を設けることで、「小中連携」を図ることができるようにしています。
- ・新しい章にはいる直前には、既習事項を確認する「次の章を学ぶ前に」を設けています。巻末に解答例を掲載しているの、家庭学習にも使えます。

### ② 学習の系統性を意識づけることで、学んだことを次の学習に生かすことができます

- ・習得した知識及び技能を新しい問題の解決に生かしていく学習活動をくり返すことで、基礎的・基本的な学力を確かなものにできる構成としています。
- ・小節末に〈次の課題〉を適宜示すことで、新たな課題に気づかせ、次の学習への意識を高めます。

▶次の課題 総度数が異なるデータの分布を比較するには、どうすればよいかな。

### ③ 生徒が苦手とする問題を克服できるようにしています

- ・〈例〉にタイトルをつけることで、学習内容を理解しやすく、また、復習をするときに目的の内容を見つけやすくしています。
- ・節末「基本の問題」では、問題ごとに戻るべき箇所を明示しているの、つまづきを早期に解決することができます。
- ・生徒キャラクターの吹き出しやノート形式の枠、□埋め形式の問題などで「数学的な説明のひな形」を示しています。そこから説明のしかたを学ぶことで、生徒が苦手とする傾向にある説明する問題、記述する問題にも対応できる表現力が身につくようにしています。

次の章を学ぶ前に

解答例▶p.293

① 次の表は、ある中学校の1年1組女子20人のハンドボール投げの記録です。また、下の図は、この表をもとにかいたドットプロットです。

確かめ ▶算数  
数直線に、記録などの印を並べた図のことをドットプロットという。

データの特徴を、適当な1つの値で代表させるとき、その値を代表値という。

小学校で学んだ代表値  
◆平均値  
データの個々の値が等しい大きさになるようにならした値。

15	19	13	17	10
11	16	17	11	17
12	12	13	10	14
17	11	9	13	17

ハンドボール投げの記録(1年1組女子)

「次の章を学ぶ前に」(p.223)

説明できるかな?

問3 次の枠内の文章は、前ページの問2に対する答えと、そのことがいえる理由を説明したものです。

にAまたはBをかき入れて、説明文を完成しなさい。

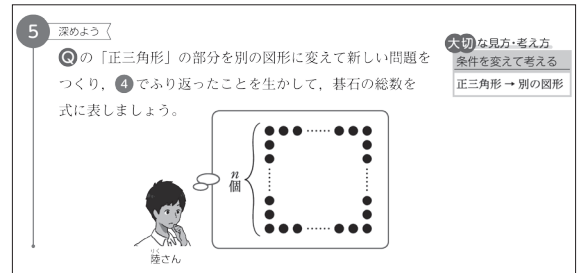
2つの度数分布多角形は同じような形で、  
中学校のグラフよりも  
中学校のグラフの方が右側にある。  
 したがって、全体としては、中学校よりも  
中学校の方が、記録がよかったといえる。

7章 データの活用〈説明できるかな?〉(p.239)



1 学習したことを日常生活や次の学習に活用することを大切にしています

- ・学習したことをほかの場面で活用したり、問題の条件の一部を変えて新しい問題をつくらせて取り組んだりする数学的活動の場面を適宜設けることで、思考力、判断力、表現力等をのばすとともに、学びに向かう力、人間性等を養うことができるようにしています。
- ・巻末「**活用の問題**」では、全国学力・学習状況調査で課題があると指摘された内容を踏まえた問題を掲載しています。思考力や読解力、記述する力などを養うことができます。



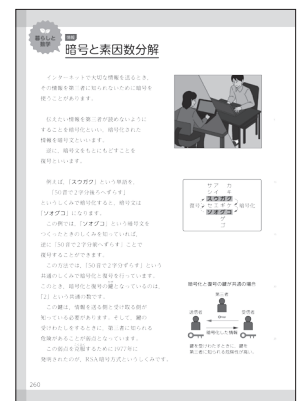
「2章 文字と式」(p.89)

2 数学のよさを感じられるようにします

- ・実在する資料やデータを使った教材を取り上げることで、数学を身近に感じるとともに、数学の有用性を実感できるようにしています。
- ・各章の「**数学のたんけん**」、巻末の「**暮らしと数学**」「**数学研究室**」では、身のまわりにある数学をコラムや課題学習として取り上げています。
- ・巻末の「**数学レポートをかこう**」では、学習したことのよさをふり返ったり、新たに調べてみたいことは何かを生徒間で共有したりして、今後の数学的活動に生かすことができるようにしています。



「7章 データの活用」(p.224)



巻末「暮らしと数学」(p.260)

1 個に応じた学習ができるようにしています

- ・各小節には、やや難易度の高い問題を〈チャレンジ〉として出題しています。学習進度の速い生徒が進んで取り組むことで、学力をのばしていくことができます。また、小節末に適宜設けた〈やってみよう〉には、個や学級の実態に応じて扱うことができる発展的な課題を用意しています。
- ・巻末の「**補充問題**」は授業の直後や定期的な復習として、家庭学習の際に活用することができるようにしています。
- ・節末には「**基本の問題**」、章末には基礎・基本から標準的な問題までの「**章の問題**」と、やや難易度の高い問題の「**とりくんでみよう**」を設け、個の実態に応じて扱えるようにしています。生徒の自己評価にも役立ちます。
- ・学習指導要領の範囲を超える内容には〈発展〉マークをつけ、生徒の興味・関心や学習状況に応じて扱うことができるようにしています。このことにより、中高の連携を図ることができます。
- ・巻末「**数学マイトライ**」には、生徒の実態に応じて柔軟に取り組むことができる問題や課題を用意しています。基本的な内容や応用的・発展的な内容のバランスにも配慮し、多様な生徒に対応できるようにしています。
- ・自学・自習に対応できるように、巻末の解答例を充実させています。
- ・巻末「**さくいん**」には、英語の表記を併記しています。英語にも興味をもち、さらなる探究心をもって数学や英語の学習に取り組むことが期待できます。



## (教科書の特色表)

基本事項	準拠性	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育基本法第2条に示された教育の目標を達成するため、特に次の3点を柱に編修しています。               <ol style="list-style-type: none"> <li>①数学的に考え表現するための学び方をはっきり示す</li> <li>②生活や学習の基盤となる数学の礎をきっちり築き上げる</li> <li>③数学の楽しさやよさをしっかり感じられるようにする</li> </ol> </li> </ul>
		学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に示された数学科の目標達成を目指し、数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を通じた学習となるようにしています。</li> </ul>
		公正性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材や場面の選定、記述にあたっては、内容が一方的、断定的な見解に偏っていないか、広く受容されているかを十分吟味・検証しています。</li> </ul>
		正確性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定基準などに照らして正確な内容であることを検証しています。</li> </ul>
内容・系統性		発達の段階への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の発達の段階を考慮した内容とし、学年ごとの系統性や3年間を通じた系統性、領域間の関連性に配慮しています。また、小・中・高の連携にも配慮しています。</li> </ul>
		配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭、各章、巻末の構成で内容を配列し、適宜関連コラムなどを配置しています。</li> <li>・各学年の配当時間の約9割で学習できる分量にしています。</li> <li>・既習事項とのつながりがわかるような一覧性のあるもくじにしています。</li> </ul>
		学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に学習のしかたをわかりやすく示すことで、生徒の学習意欲を喚起し、主体的な学びを促すようにしています。</li> <li>・生徒が興味・関心をもてるような素材を選定しています。</li> <li>・生徒と同じ立場の親しみやすいキャラクターの言葉が学ぶ意欲を高めます。</li> </ul>
		多様な学習の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習内容をもとに解決方法を考えたり、話し合ったり、学習の過程をふり返ったりするなど、数学科の特質を生かした主体的・対話的で深い学びを行う場面を積極的に取り入れています。</li> </ul>
		基礎・基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識及び技能の習得・定着が十分に図れるような構成になっています。</li> </ul>
		思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・式や図、グラフ、言葉などを関連づけて考え表現する活動を積極的に取り入れています。</li> <li>・方法や理由などを数学的に説明する記述式の問題をすべての章に設けています。</li> </ul>
		活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを日常生活や新しい学習に活用する場面を充実させています。</li> </ul>
		現代的・社会的な諸課題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災教育、キャリア教育、消費者教育、情報教育・情報モラル、環境教育、伝統文化、国際理解などに関する内容を取り上げています。</li> <li>・ESD、SDGsに配慮した内容を取り上げています。</li> </ul>
その他		家庭学習への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学科の学び方や教科書の使い方については、保護者へのメッセージも掲載し、学校と家庭の連携を促しています。</li> <li>・個に応じた取り扱いができる「数学マイトライ」は、家庭学習でも使用することができます。</li> </ul>
		取り扱い素材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとって身近に感じられる素材を用いた問題を開発しています。</li> </ul>
		他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳教育や他教科の学習内容と関連のある素材を取り上げ、効果的な指導ができるようにしています。これにより、カリキュラムマネジメントに役立つことが期待されます。</li> <li>・数学とプログラミングに関する特設ページを設けています。</li> <li>・さくいんに英語の表記を併記することで、英語への興味・関心を高められるようにしています。</li> </ul>
		特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーバリアフリーやユニバーサルデザインを採用するなど、特別支援教育について十分に配慮しています。また、拡大教科書を制作します。</li> </ul>
		デジタル教材の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書と連携して使えるデジタル教材やコンテンツを提供する体制を整え、学習効果を高められるように配慮しています。</li> </ul>
		判型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B5判を採用しています。巻末「対話シート」は、切り離して授業で使った後、ノートに貼って残すことを想定し、一般的なノートよりひとまわり小さいサイズにしています。</li> </ul>
		文字・印刷・製本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校で学習しない漢字には、見開きごとに振り仮名をつけています。</li> <li>・可読性が高いユニバーサルデザインフォントを使用しています。</li> <li>・本文用紙は軽量化した再生紙とし、表紙は表面加工を施し、耐水性や堅牢性を考慮しています。</li> <li>・植物油インクを用いて印刷し、堅牢なあじろ綴製本で開きやすくしています。</li> </ul>

## 2. 対照表

章	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数	
1章 正の数と負の数	A(1)ア	(ア)p.14～23, (イ)p.24～57, (ウ)p.14～61	24	
	A(1)イ	(ア)p.24～57, (イ)p.14～17, 23, 39, 58～59		
	数学的活動(1)	ア p.14～15, 58～59 イ p.40, 41, 46, 51, 58～59 ウ p.58～59, 61		
	内容の取扱い(1)(2)	(1)p.54～56, 62, (2)p.52～53		
2章 文字と式	A(2)ア	(ア)p.64～96, (イ)p.68～71, (ウ)p.78～85, (エ)p.72～77, 80～81, 87～96	18	
	A(2)イ	(ア)p.80～81		
	数学的活動(1)	ア p.73 イ p.64～65, 87～89 ウ p.88, 96		
	内容の取扱い(3)	(3) p.92～93		
3章 方程式	A(3)ア	(ア)p.98～101, (イ)p.102～111, 121～122	14	
	A(3)イ	(ア)p.102～111, (イ)p.112～122		
	数学的活動(1)	イ p.98～99, 107, 110, 118 ウ p.117, 122		
	内容の取扱い(4)	(4) p.118～119		
4章 比例と反比例	C(1)ア	(ア)p.124～127, (イ)p.128～133, 144～147, (ウ)p.134～135, (エ)p.128～153	21	
	C(1)イ	(ア)p.128～153, (イ)p.154～159		
	数学的活動(1)	ア p.124～125, 155, 157～159 イ p.126, 127, 129, 132～133, 136～137, 139, 140, 145～150, 157～159 ウ p.128～129, 145, 150, 159, 162		
5章 平面図形	B(1)ア	(ア)p.179～187, (イ)p.164～178	18	
	B(1)イ	(ア)p.179～187, (イ)p.172～178, (ウ)p.171～173, 178, 179～191, 195～196		
	B(2)ア	(イ)p.191～194		
	数学的活動(1)	イ p.164～165, 169, 171, 174～176, 188～189, 191 ウ p.183, 189, 196		
	内容の取扱い(5)	(5) p.171, 186		
6章 空間図形	B(2)ア	(ア)p.198～206, (イ)p.214～222	15	
	B(2)イ	(ア)p.207～213, (イ)p.214～219		
	数学的活動(1)	ア p.209 イ p.198～199, 205, 209, 217, 218 ウ p.201, 222		
	内容の取扱い(6)	(6) p.210～212		
7章 データの活用	D(1)ア	(ア)p.224～243, (イ)224～243, 269	13	
	D(1)イ	(ア)p.224～246, 252～256		
	D(2)ア	(ア)p.248～251		
	D(2)イ	(ア)p.252～253		
	数学的活動(1)	ア p.224～237, 248～253 イ p.228, 235, 237, 239, 249～251 ウ p.229, 231～232, 234, 237, 239, 241, 253		
(予備時間：17時間)			合計	123

※上記の表に示した箇所以外にも、小節の〈Q〉や巻末「数学研究室」で数学的活動を扱っています。

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-60	中学校	数学	数学	1年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 708	中学数学 1		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
183	やってみよう	2	[第1学年] 2内容 B(1) ア(ア) 角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線など基本的な作図の方法を理解すること。イ(ア) 図形の性質に着目し, 基本的な作図の方法を考察し表現すること。	0.25
264 ~ 265	数学研究室 三角形の内心と外心	1	[第1学年] 2内容 B(1) ア(ア) 角の二等分線, 線分の垂直二等分線, 垂線など基本的な作図の方法を理解すること。イ(ア) 図形の性質に着目し, 基本的な作図の方法を考察し表現すること。	2
268	数学研究室 多面体の面, 頂点, 辺の数の関係	2	[第1学年] 2内容 B(2) ア(ア) 空間における直線や平面の位置関係を知ること。イ(ア) 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり, 空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすること。	1
合計				3.25

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上, 隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても, 当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容
- 2…学習指導要領上, どの学年等でも扱うこととされていない内容